

議案第9号

令和4年度

八街市下水道事業会計補正予算（第1号）

## 議案第9号

### 令和4年度八街市下水道事業会計補正予算（第1号）

（総則）

第1条 令和4年度八街市下水道事業会計補正予算（第1号）は、次に定めるところによる。

（業務の予定量の補正）

第2条 令和4年度八街市下水道事業会計予算（以下「予算」という。）第2条に定めた主な建設改良事業の金額を次のように改める。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
（3） 主な建設改良事業			
汚水整備事業	98,992千円	2,846千円	101,838千円

（収益的収入及び支出の補正）

第3条 予算第3条に定めた収益的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収 入		
第1款 下水道事業収益	798,989千円	△ 121千円	798,868千円
第1項 営業収益	253,869千円	0千円	253,869千円
第2項 営業外収益	537,623千円	5,242千円	542,865千円
第3項 特別利益	7,497千円	△ 5,363千円	2,134千円
	支 出		
第1款 下水道事業費用	724,130千円	△ 12,007千円	712,123千円
第1項 営業費用	651,746千円	2,875千円	654,621千円
第2項 営業外費用	56,703千円	△ 6,231千円	50,472千円
第3項 特別損失	14,681千円	△ 8,651千円	6,030千円
第4項 予備費	1,000千円	0千円	1,000千円

（資本的収入及び支出の補正）

第4条 予算第4条本文かっこ書中「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額248,955千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額4,209千円、減債積立金57,722千円、当年度分損益勘定留保資金122,679千円、繰越利益剰余金処分額60,024千円及び当年度利益剰余金処分額4,321千円」を「資本的収入額が資本的支出額に対し不足する額251,334千円は、当年度分消費税及び地方消費税資本的収支調整額10,640千円、減債積立金57,722千円、当年度分損益勘定留保資金114,942千円及び繰越利益剰余金処分額68,030千円」に改め、資本的収入及び支出の予定額を次のとおり補正する。

（科 目）	（既決予定額）	（補正予定額）	（計）
	収 入		
第1款 資本的収入	169,194千円	452千円	169,646千円
第1項 企業債	102,500千円	500千円	103,000千円
第2項 他会計補助金	40,262千円	△ 48千円	40,214千円
第3項 補助金	25,000千円	0千円	25,000千円
第4項 負担金	1,432千円	0千円	1,432千円

	支 出		
第1款 資本的支出	418,149千円	2,831千円	420,980千円
第1項 建設改良費	130,978千円	2,846千円	133,824千円
第2項 企業債償還金 (企業債の補正)	287,171千円	△ 15千円	287,156千円

第5条 予算第5条の表中「資本費平準化債 | 4,800」を「資本費平準化債 | 5,300」に改める。

(議会の議決を経なければ流用することのできない経費の補正)

第6条 予算第8条に定めた経費の金額を次のように改める。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(1) 職員給与費	74,839千円	△ 8,106千円	66,733千円

(利益剰余金の処分の補正)

第7条 予算第10条中「繰越利益剰余金のうち60,024千円及び当年度利益剰余金のうち4,321千円」を「繰越利益剰余金のうち68,030千円」に改め、同条に定めた利益剰余金の処分予定額を次のように改める。

(科 目)	(既決予定額)	(補正予定額)	(計)
(1) 減債積立金	64,345千円	3,685千円	68,030千円

令和4年8月31日 提出

八 街 市 長    北 村    新 司

令和 4 年度

八街市下水道事業会計補正予算（第 1 号）に関する説明書



令和4年度八街市下水道事業会計補正予算（第1号）実施計画書

収益的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1.	下水道事業収益		798,989	△ 121	798,868	
	1.	営業収益	253,869	0	253,869	
		1. 下水道使用料	250,179	0	250,179	
		2. 他会計負担金	3,635	0	3,635	
		3. その他営業収益	55	0	55	
	2.	営業外収益	537,623	5,242	542,865	
		1. 受取利息及び配当金	40	0	40	
		2. 他会計補助金	212,094	48	212,142	一般会計補助金の増
		3. 長期前受金戻入	299,276	370	299,646	長期前受金戻入の増
		4. 雑収益	26,213	4,824	31,037	賞与引当金戻入の増、法定福利費引当金戻入の増、除却資産に係る繰延収益の収益化による収益の増
	3.	特別利益	7,497	△ 5,363	2,134	
		1. その他特別利益	7,497	△ 5,363	2,134	減損損失資産に係る繰延収益の収益化による収益の減

支出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1.	下水道事業費用		724,130	△ 12,007	712,123	
	1.	営業費用	651,746	2,875	654,621	
		1. 雨水管渠費	10,403	0	10,403	
		2. 汚水管渠費	11,791	5,453	17,244	委託料の減、汚水管渠修繕工事の増
		3. 総係費	71,062	△ 6,332	64,730	損益勘定支弁職員7名分の人件費（給料、手当、賞与引当金繰入額、法定福利費、法定福利費引当金繰入額）の減
		4. 流域下水道維持管理負担金	117,535	0	117,535	
		5. 減価償却費	439,473	△ 1,642	437,831	有形固定資産減価償却費の減、無形固定資産減価償却費の減
		6. 資産減耗費	1,482	5,396	6,878	固定資産除却費の増
	2.	営業外費用	56,703	△ 6,231	50,472	
		1. 支払利息及び企業債取扱諸費	44,577	△ 362	44,215	企業債利子の減
		2. 消費税及び地方消費税	12,116	△ 5,869	6,247	消費税及び地方消費税納税予定額の減
		3. 雑支出	10	0	10	
	3.	特別損失	14,681	△ 8,651	6,030	
		1. 減損損失	14,680	△ 11,660	3,020	建設仮勘定に係る減損損失の減
		2. その他特別損失	1	0	1	
		3. 過年度損益修正損	0	3,009	3,009	過年度損益修正損の増
	4.	予備費	1,000	0	1,000	
		1. 予備費	1,000	0	1,000	

資本的収入及び支出

収入

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1.	資本的収入		169,194	452	169,646	
	1.	企業債	102,500	500	103,000	
		1. 建設企業債	102,500	500	103,000	資本費平準化債の増
	2.	他会計補助金	40,262	△ 48	40,214	
		1. 他会計補助金	40,262	△ 48	40,214	一般会計補助金の減
	3.	補助金	25,000	0	25,000	
		1. 補助金	25,000	0	25,000	
	4.	負担金	1,432	0	1,432	
		1. 受益者負担金	1,432	0	1,432	

支出

(単位：千円)

款	項	目	既決予定額	補正予定額	計	備 考
1.	資本的支出		418,149	2,831	420,980	
	1.	建設改良費	130,978	2,846	133,824	
		1. 污水管渠建設改良費	98,992	2,846	101,838	資本勘定支弁職員3名分の人件費(給料、手当、賞与引当金繰入額、法定福利費、法定福利費引当金繰入額)の減、污水管渠等整備工事の増
		2. 流域下水道建設費負担金	31,986	0	31,986	
	2.	企業債償還金	287,171	△ 15	287,156	
		1. 建設企業債償還金	287,171	△ 15	287,156	資本費平準化債に係る元金償還金の減

令和4年度八街市下水道事業予定キャッシュ・フロー計算書  
(令和4年4月1日から令和5年3月31日まで)

(単位：円)

業務活動によるキャッシュ・フロー	
当年度純利益	76,073,000
減価償却費	437,831,000
固定資産除却費	6,878,000
減損損失	3,020,000
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△ 34,000
賞与引当金の増減額(△は減少)	△ 746,000
法定福利費引当金の増減額(△は減少)	△ 141,000
長期前受金戻入額	△ 299,646,000
除却資産に係る繰延収益の収益化による雑収益	△ 4,598,000
準建設改良債元金償還金に係る繰延収益の収益化による雑収益	△ 25,145,000
過年度収益化不足額の収益化による特別利益	△ 1,212,000
減損損失資産に係る繰延収益の収益化による特別利益	△ 922,000
支払利息	44,215,000
未収金の増減額(△は増加)	12,310,000
未払金の増減額(△は減少)	△ 75,944,000
たな卸資産の増減額(△は増加)	0
その他流動負債の増減額(△は減少)	△ 10,000
小計	171,929,000
利息の支払額	△ 44,215,000
業務活動によるキャッシュ・フロー	127,714,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	
有形固定資産の取得による支出	△ 210,351,000
無形固定資産の取得による支出	△ 29,078,000
国庫補助金等による収入	82,313,000
一般会計からの繰入金による収入	37,064,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 120,052,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	
建設改良費等の財源に充てるための企業債による収入	190,700,000
建設改良費等の財源に充てるための企業債の償還による支出	△ 287,156,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 96,456,000
資金減少額	△ 88,794,000
資金期首残高	99,385,020
資金期末残高	10,591,020



# 給 与 費 明 細 書

## 1 総括

区 分	職 員 数		給 与 費				法定福利費 (千円)	合 計 (千円)
	特 別 職 (人)	一 般 職 (人)	報 酬 (千円)	給 料 (千円)	手 当 (千円)	計 (千円)		
補 正 後	損益勘定支弁職員	8 ( ) 7	41	24,648	13,060	37,749	7,408	45,157
	資本勘定支弁職員	0 ( ) 3	0	11,794	6,351	18,145	3,431	21,576
	合 計	8 ( ) 10	41	36,442	19,411	55,894	10,839	66,733
補 正 前	損益勘定支弁職員	8 ( ) 7	41	28,080	14,939	43,060	8,429	51,489
	資本勘定支弁職員	0 ( ) 3	0	12,976	6,736	19,712	3,638	23,350
	合 計	8 ( ) 10	41	41,056	21,675	62,772	12,067	74,839
比 較	損益勘定支弁職員	8 ( ) 0	0	△ 3,432	△ 1,879	△ 5,311	△ 1,021	△ 6,332
	資本勘定支弁職員	0 ( ) 0	0	△ 1,182	△ 385	△ 1,567	△ 207	△ 1,774
	合 計	8 ( ) 0	0	△ 4,614	△ 2,264	△ 6,878	△ 1,228	△ 8,106

注 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書したものである。

手 当 の 内 訳	区 分	扶養手当	管理職手当	地域手当	住居手当	通勤手当	時 間 外 勤務手当	期末手当	勤勉手当	児童手当
		(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)	(千円)
補正後		978	696	1,144	299	884	400	8,183	6,327	500
補正前		1,056	696	1,285	272	680	400	9,191	7,255	840
比 較		△ 78	0	△ 141	27	204	0	△ 1,008	△ 928	△ 340

## 2 給料及び手当の増減額の明細

区 分	増 減 額 (千円)	増 減 事 由 別 内 訳 (千円)		説 明	備 考
給 料	△ 4,614	給与改定に伴う増減分	0		
		昇給に伴う増加分	0		
		その他の増減分	△ 4,614	職員の異動等に伴う減額	
手 当	△ 2,264	制度改正に伴う増減分	0		
		その他の増減分	△ 2,264	職員の異動等に伴う減額	

## 3 給料及び手当の状況

### (1) 職員1人当たり給与

区 分	企 業 職	
令和4年8月1日 現 在	平均給料月額 (円)	305,130
	平均給与月額 (円)	336,082
	平均年齢 (歳)	39.2
令和3年8月1日 現 在	平均給料月額 (円)	337,240
	平均給与月額 (円)	370,315
	平均年齢 (歳)	43.7

### (2) 初任給

区 分	企 業 職 (円)	国 の 制 度	
		行 政 職 (円)	技能労務職 (円)
高 校 卒	154,900	150,600	147,900
大 学 卒	182,200	182,200	—

(3) 級別職員数

区 分	企 業 職		
	級	職 員 数 (人)	構 成 比 (%)
令和4年8月1日 現 在	7 級	( ) 1	( ) 10.0
	6 級	( ) 2	( ) 20.0
	5 級	( ) 1	( ) 10.0
	4 級	( ) 2	( ) 20.0
	3 級	( ) 1	( ) 10.0
	2 級	( ) 0	( ) 0.0
	1 級	( ) 3	( ) 30.0
	合 計	( ) 10	( ) 100.0
令和3年8月1日 現 在	7 級	( ) 1	( ) 10.0
	6 級	( ) 2	( ) 20.0
	5 級	( ) 2	( ) 20.0
	4 級	( ) 3	( ) 30.0
	3 級	( ) 1	( ) 10.0
	2 級	( ) 0	( ) 0.0
	1 級	( ) 1	( ) 10.0
	合 計	( ) 10	( ) 100.0

注 ( ) 内は、短時間勤務職員について外書したものである。

(級別の基準となる職務)

区 分	7 級	6 級	5 級	4 級	3 級	2 級	1 級
企 業 職	課 長	主 幹 副主幹	係 長 主 査	主 査 補	主任主事 主任技師	主 事 技 師	主 事 補 技 師 補

(4) 昇給

区 分		企 業 職	
補	職 員 数 (A) (人)	10	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	8	
正 後	号 級 数 別 内 訳	1 号 級	1
		2 号 級	0
		3 号 級	0
		4 号 級	7
比 率 (B)/(A) (%)		80	
補	職 員 数 (A) (人)	10	
	昇給に係る職員数 (B) (人)	10	
正 前	号 級 数 別 内 訳	1 号 級	1
		2 号 級	0
		3 号 級	0
		4 号 級	9
比 率 (B)/(A) (%)		100	

(5) 期末勤勉手当

区 分	支給期別支給率		支給率計 (月分)	職制上の段階、職務の 級等による加算措置	備 考
	6月 (月分)	12月 (月分)			
補 正 後	(1.125) 2.15	(1.125) 2.15	(2.25) 4.30	有	
補 正 前	(1.125) 2.15	(1.125) 2.15	(2.25) 4.30	有	
国 の 制 度	(1.125) 2.15	(1.125) 2.15	(2.25) 4.30	有	6月期においては、年間支給月数を引き 下げ、調整する。

注 ( ) 内は、再任用職員について記載したものである。

(6) 定年退職及び応募認定退職に係る退職手当

区 分	20年勤続 の者(月分)	25年勤続 の者(月分)	35年勤続 の者(月分)	最高限度 (月分)	その他の加算措置等	備 考
支 給 率 等	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~20%加算)	
国 の 制 度 (支給率等)	24.586875	33.27075	47.709	47.709	定年前早期退職特例措置 (2%~45%加算)	

(7) その他の手当

区 分	国の制度との異同	差 異 の 内 容
扶 養 手 当	同 一	
地 域 手 当	同 一	
住 居 手 当	同 一	
通 勤 手 当	同 一	



令和4年度八街市下水道事業予定貸借対照表  
(令和5年3月31日)

(単位：円)

		資 産 の 部	
1	固定資産		
(1)	有形固定資産		
ア	土地		523,151,341
イ	構築物	12,433,156,620	
	減価償却累計額	<u>△ 1,206,239,723</u>	11,226,916,897
ウ	機械及び装置	66,464,510	
	減価償却累計額	<u>△ 5,512,284</u>	60,952,226
エ	車両運搬具	1,405,073	
	減価償却累計額	<u>△ 874,118</u>	530,955
オ	工具、器具及び備品	503,100	
	減価償却累計額	<u>△ 174,322</u>	328,778
カ	建設仮勘定		<u>23,632,275</u>
	有形固定資産合計		11,835,512,472
(2)	無形固定資産		
ア	施設利用権		371,362,963
イ	その他無形固定資産		<u>208,240</u>
	無形固定資産合計		371,571,203
(3)	投資その他の資産		
ア	出資金		1,000,000
イ	その他投資		<u>17,230</u>
	投資その他の資産合計		<u>1,017,230</u>
	固定資産合計		12,208,100,905
2	流動資産		
(1)	現金預金		10,591,020
(2)	未収金	36,335,940	
	貸倒引当金	<u>△ 1,039,504</u>	35,296,436
(3)	有価証券		9,507,000
(4)	貯蔵品		<u>136,235</u>
	流動資産合計		<u>55,530,691</u>
	資産合計		<u><u>12,263,631,596</u></u>

負債の部

3 固定負債			
(1) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	3,322,162,913		
企業債合計		<u>3,322,162,913</u>	
固定負債合計			3,322,162,913
4 流動負債			
(1) 企業債			
ア 建設改良費等の財源に充てるための企業債	276,548,597		
企業債合計		276,548,597	
(2) 未払金		4,695,107	
(3) 引当金			
ア 賞与引当金	4,889,612		
イ その他引当金	<u>946,078</u>		
引当金合計		5,835,690	
(4) その他流動負債		<u>160,000</u>	
流動負債合計			287,239,394
5 繰延収益			
(1) 長期前受金		8,818,973,701	
収益化累計額		<u>△ 971,527,881</u>	
繰延収益合計			<u>7,847,445,820</u>
負債合計			<u>11,456,848,127</u>

資本の部

6 資本金			41,973,307
7 剰余金			
(1) 資本剰余金			
ア 受贈財産評価額	127,676,358		
イ 補助金	281,000,467		
ウ その他	<u>1,516</u>		
資本剰余金合計		408,678,341	
(2) 利益剰余金			
ア 減債積立金	893		
イ 当年度未処分利益剰余金	<u>356,130,928</u>		
利益剰余金合計		<u>356,131,821</u>	
剰余金合計			<u>764,810,162</u>
資本合計			<u>806,783,469</u>
負債資本合計			<u>12,263,631,596</u>

## 注記

### I. 重要な会計方針に係る事項

#### 1 たな卸資産の評価基準及び評価方法

- ・ 貯蔵品 先入先出法による原価法

#### 2 固定資産の減価償却の方法

##### (1) 有形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法による。
- ・ 主な耐用年数

構築物	45～50年
機械及び装置	10～20年
車両運搬具	4年
工具、器具及び備品	4～5年

##### (2) 無形固定資産

- ・ 減価償却の方法 定額法による。
- ・ 主な耐用年数 施設利用権 35年

#### 3 引当金の計上方法

##### (1) 退職給付引当金

本市は退職手当組合に加入しており、一般会計との協議により追加的な費用負担は全て一般会計において支出することとしているため、退職給付引当金は計上していない。

##### (2) 賞与引当金及び法定福利費引当金

職員の期末手当、勤勉手当の支給及び法定福利費の支払に備えるため、当年度末における支給見込額に基づき、当年度の負担に属する額（12月から3月までの4か月分）を計上している。

##### (3) 貸倒引当金

債権の不納欠損による損失に備えるため、一般債権については、貸倒実績率等による回収不能見込額を計上している。

#### 4 消費税及び地方消費税の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっている。

### II. 予定貸借対照表等

#### 1 企業債の償還に係る他会計の負担

予定貸借対照表に計上されている企業債（当年度の末日の翌日から起算して1年以内に償還予定のものを含む。）のうち他会計が負担すると見込まれる額は、419,236千円である。

### III. その他

#### 1 賞与引当金及び法定福利費引当金の取崩し

令和4年度において、期末手当及び勤勉手当の支給並びにこれらの支給に係る法定福利費の支払をすするため、賞与引当金4,572千円及び法定福利費引当金886千円を取り崩すこととしている。

#### 2 貸倒引当金の取崩し

令和4年度において、下水道使用料及び受益者負担金の不納欠損による損失が生じる見込みであるため、貸倒引当金805千円を取り崩すこととしている。